

(別冊 1)

令和 2 年度 事業報告書

社会福祉
法人 松山市社会福祉協議会

も く じ

【はじめに】	1
--------	---

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

(1) 社会福祉協議会運営事業	1
(2) パソコン等情報機器管理事業	2
(3) 小口資金等償還促進事業	2

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業	3
(2) 生活支援体制整備事業	3
(3) ボランティアセンター運営事業	4
(4) 社協会員加入促進事業	6
(5) まごころ銀行運営事業	7

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業	
①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業	7
②災害見舞金支給事業	7

(2) 地区社協育成事業

①共同募金地区社協配分事業	7
②地区社会福祉協議会連絡会運営事業	8

(3) 地域福祉活動啓発事業

①広報啓発事業	8
②若草福祉まつり開催事業	9
③福祉サポートフェスタ開催事業	9
④北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業	9
⑤愛媛マラソン清掃ボランティア事業	9
⑥障がい者理解啓発イベント開催事業	10
⑦キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業	10
⑧防災・減災シンポジウム開催事業	10

[新規] ⑨注文をまちがえる喫茶店開催事業	10
-------------------------	----

[新規] ⑩介護予防体操制作事業	10
--------------------	----

(4) 地域交流支援事業

①地域交流サロン等活動支援事業	11
②道後温泉浴衣活用事業	11
③福祉団体助成事業	11
④地域団体研修等車輛借上助成事業	12

⑤子育て応援プロジェクト事業	12
[新規] ⑥おもちゃ図書館ひみつきち事業	12
(5) 見守り支援事業	
①安心カードみまもり支援事業	12
②認知症高齢者SOSネットワーク事業	12

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業	13
(2) 障がい者総合相談窓口事業	13
(3) 福祉サービス利用援助事業	14
(4) 福祉資金貸付事業	15
(5) 聴覚総合支援事業	
①聴覚総合相談事業	15
②手話通訳者設置事業	16
③意思疎通支援事業	16
④意思疎通支援者養成事業	17
⑤聴覚障がい者等生活訓練事業	17

【公益事業】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業	18
(2) 地域福祉支援システム管理運営事業	19
(3) 番町福祉センター管理事業	19
(4) 北条社会福祉センター管理運営事業	20
(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業	20
(6) 活動拠点整備事業	21

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業	
①愛の一声訪問事業	21
②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業	21
③配食サービス事業	21
④福祉機器貸出事業	21
[新規] ⑤かぎ預かり緊急時対応事業	21
(2) 介護予防促進事業	
①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業	22
②松山健康づくり体操教室事業	23
③まつやまシニアカレッジ事業	24
④北条文化の森いきいき講座事業	24

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

- ①要介護認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ②生活保護受給者身体状況訪問調査事業・・・・・・・・・・ 24
- ③住所地特例認定訪問調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ④障害支援区分認定調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

(2) 社会福祉施設等支援事業

- ①介護サービス事業者調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ②ケアプラン評価等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ③介護相談員派遣事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

4 権利擁護センター事業

- (1) 権利擁護センター運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- (2) 法人成年後見事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- (3) 市民後見推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

- ①福祉大会開催事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ②ボランティア養成講座事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ③コミュニケーションスキルアップ講座事業・・・・・・・・ 30

- [新規] ④オンライン福祉情報発信・福祉人材育成支援事業・・・・・・・・ 30

【はじめに】

人口減少・少子高齢化の進行や家族機能の変化など、地域住民を取り巻く環境が大きく変化する中、誰もが住みなれた地域で自分らしく暮らし、地域住民が支え合い、生きがいをもって暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向け、各種施策の充実が求められています。

こうした中、松山市社会福祉協議会では、松山市行政計画の「地域福祉計画」と一体となった「第4期地域福祉活動推進計画」（このまちのえがおプラン）に基づき、引き続き「みんなが つながる 支える まちづくり」を基本理念に掲げ、地域福祉活動の要である地区社協・地区民協活動の支援に努めつつ、地域の社会資源を有効に活用しながら、高齢者や障がい者等要援護者の支援体制の更なる充実に努めました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各イベントや事業が延期、中止、縮小を余儀なくされる中、オンラインによる情報発信等の体制整備を行い事業継続を図るとともに、ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう民間企業等と連携し「かぎ預かり緊急時対応事業（通称：かぎ預かり SOS）」を新たに開始するなど、見守り活動等の推進をはじめ、SNS等を活用した、各種広報啓発活動の強化や社協会員の拡充に努め、本会の特性である公平性・中立性・民間性を最大限に活かしながら、社会福祉協議会の理解者拡大と使命である地域福祉の一層の充実を図りました。

【社会福祉事業】

1 法人運営事業

（１）社会福祉協議会運営事業

【市補助事業】

理事会・評議員会の開催や本所及び支所の運営全般を行い、適正な法人運営や大学・教育機関等と連携した福祉人材の育成をはじめ、本会賛助会員や「連携に関する協定書」を締結した企業等と協働事業を実施するなど、本会事業の啓発や財源確保、更には企業の社会貢献活動の促進を図るとともに、働き方改革に対応するため、関係する規程等の変更を行い、労働環境整備等に努めた。

ア. 理事会の開催（定数：理事 13 名・監事 2 名）

開催日	出席者数	議 案
令和 2 年 6 月 4 日	15 名 (書面決議)	令和 2 年度資金収支補正予算について 令和元年度事業報告について 令和元年度収支決算について 評議員選任・解任委員会外部委員の委嘱について 令和 2 年第 2 回評議員会の開催について
令和 3 年 3 月 11 日	15 名	令和 2 年度資金収支補正予算について 基本財産の処分について 定款の一部変更について 令和 3 年度事業計画について 令和 3 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 給与規程の一部改正について 嘱託職員給与規程の一部改正について 就業規則の一部改正について 嘱託職員就業規則の一部改正について パート職員就業規則の一部改正について 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 評議員選任候補者の推薦について 令和 3 年第 1 回評議員会の開催について (追加議案) 役員等賠償責任保険契約について

イ. 評議員会の開催（定数：評議員 22 名）

開催日	出席者数	議 案
令和 2 年 7 月 2 日	20 名	令和 2 年度資金収支補正予算について 令和元年度事業報告について 令和元年度資金収支決算について 役員の選任について
令和 3 年 3 月 25 日	19 名	令和 2 年度資金収支補正予算について 基本財産の処分について 定款の一部変更について 令和 3 年度事業計画について 令和 3 年度資金収支予算について 市総合福祉センターの管理運営に関する年度協定について 役員の選任について

ウ. 評議員選任・解任委員会の開催（定数：委員 6 名）

開催日	出席者数	議 案
令和 3 年 3 月 16 日	5 名	評議員の選任（3 名）について

エ. 実習生の受入等

学校数	人 数	実習内容
1 校	1 名	相談援助実習や臨地実習等（リモート対応）

（2）パソコン等情報機器管理事業

【自主事業】

各種事業を効率的に実施するため、整備されたパソコン等の情報機器を活用し、情報の共有化を図るとともに、安全な運用管理及びセキュリティ対策の強化に努めた。

設置状況	台 数	設置場所
社協 L A N	81 台	本所 外 6 ヶ所
訪問調査業務	42 台	本所 外 3 ヶ所

（3）小口資金等償還促進事業

【自主事業】

母子家庭等小口資金貸付事業（平成 19 年度終了）及び低所得者小口資金貸付事業（平成 20 年度終了）の貸付金未償還金について、訪問調査や償還指導により償還促進に努めた。

資金名称	徴収可能債権	償還件数(実人数)	償還金額
低所得者小口資金	27 件（383,000 円）	44 件(13 名)	157,000 円
母子家庭等小口資金	3 件（186,000 円）	4 件(2 名)	20,000 円
合 計	30 件（569,000 円）	48 件(15 名)	177,000 円

令和 2 年度、低所得者小口資金償還完了者は 8 名

2 地域福祉活動支援事業

(1) 地域福祉サービス事業

【市補助事業】

地区社協を実施機関とし、住民参加のたすけあい（自助・互助）の精神を基調とした預託点数制による住民参加型在宅福祉サービスの提供をはじめ、福祉学習、地区福祉だより発行による福祉教育や啓発活動を行う等、地域福祉活動の推進を図った。また、各地区別の協力会員研修等の開催を積極的に支援し、協力会員への意識の醸成を図るとともに、地域関係団体等へチラシ配布を行うなど、新たな協力会員の確保に努めた。

ア. 会員数・活動状況等

・協力会員数

男	女	合計
342 名	1,735 名	2,077 名

・活動状況

延べ派遣回数	延べ派遣時間数	延べ預託点数	内容等
4,247 回	5287.5 時間	10,575 点	ゴミ出し、話し相手、サロン活動の支援、地区社協事業の手伝い等

イ. 地区社協活動推進事業

助成内容	助成地区	助成総額	内容等
福祉学習事業 助成	23 地区	1,660,000 円	80,000 円を限度に助成 (延べ実施回数 78 回)
活動計画策定 助成	2 地区	20,000 円	地域福祉活動計画策定にあたり 10,000 円を限度に助成
地区社協 チャレンジ事業	2 地区	150,000 円	開始から 3 年目まで 100,000 円 その後 3 年間 50,000 円を上限に助成 *ただし、総事業費の 1/2 を限度

ウ. 地区別活動状況及び経理状況調査の実施

実施地区	市内地区社協（40 地区）
調査期間	令和 2 年 4 月 ～ 令和 2 年 6 月
内 容	会長、関係役員等からの活動状況の聞き取りや一般会計及び特別会計の経理に関する調査を実施

エ. 地区社協だよりの発行

実施地区	38 地区/ 40 地区中
発行回数	59 回
内 容	地区内各世帯への配布による地区社協活動等の周知・啓発（年 1 ～ 4 回発行）

(2) 生活支援体制整備事業

【市受託事業】

高齢者が健康で生きがいを持って暮らすことができるよう、地域で支え合う社会の基盤づくりを進めるため「生活支援コーディネーター」を配置し、地域のニーズや資源の把握、地区社協や地区民協をはじめとする関係者間のネットワークの構築、ニーズと取り組みのマッチング等の推進に努めた。

また、住民の地域活動にスポットを当てた「地域のお宝発表会 in まつやま」をオンラインで開催し、地域の取り組みを関係者間で共有するなど、新たな社会資源の創設や事業の拡充に努めた。

ア. 関係機関とのネットワーク構築

項 目	内容等
第1層協議体 (市全域)	地域のお宝発表会 in まつやま (第1層協議体として開催) 開催回数：1回 (目標1回) 開 催 日：令和3年1月20日 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室 参 加 者：延べ19名およびYouTube ライブ配信
第2層A協議体 (9ブロック)	開催回数：18回 (目標9回) 会 場：市総合福祉センターほか 参加者数：延べ289名
第2層B協議体 (40地区)	暮らし支え合う井戸端トーク 開催地区：30地区/ 40地区中 (目標40地区) 延べ実施回数46回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため10地区開催中止

イ. 地域資源の把握

項 目	内容等
地域のニーズと地域資源の把握	地区社協をはじめ、地域内の関係機関・団体と連携し、協議体を活用した地域課題や取り組み等を共有した。
情報の整理及び見える化 (SNSの活用)	「へこまんくんといく!」と題し、生活支援コーディネーターが地域活動取材し、SNS (facebook・Instagram) を活用した啓発に取り組んだ。(95件)

ウ. 地域支援体制の構築

項 目	内容等
地域福祉サービス事業の機能充実に向けた取組	事業の理解促進を図るため地区社協が主催する協力会員研修会等で事業の周知に取り組んだ。

エ. 担い手の養成

項 目	内容等
地域住民や関係者を対象とした研修会等の実施	地域福祉リーダー養成講座 開 催 日：令和3年2月18日・19日 会 場：市総合福祉センター 1階 大会議室および 市北条社会福祉センター 2階 大会議室 参 加 者：延べ30名 (目標40名)

(3) ボランティアセンター運営事業

【市補助事業】

ボランティアの育成援助、コーディネート機能の充実、ボランティア団体・関係機関との連携・協働を図るとともに、ボランティア活動の振興・拡大に努めた。

ア. 運営

- ・運営委員会の開催 (委員8名)

開催日	出席者数	協議事項
令和2年7月30日	7名	・令和2年度【4－6月】ボランティアセンター事業報告について ・令和2年度【7－3月】ボランティアセンター事業計画について

- ・松山市ボランティア連絡協議会への運営協力等

松山市ボランティア連絡協議会の運営協力や事業助成を行い、ボランティアグループ相互の連携と協働及び情報交換等を行いボランティア活動の推進に努めた。

イ. 相談支援

ボランティア活動に関する相談・連絡調整・登録を行い、ボランティア活動の推進に努めた。

・登録数

項 目		内容等
団 体		434 団体・58,366 名（新規：14 団体・248 名）
個 人		2,809 名（新規：24 名）
災害登録	個 人	110 名
	協 定	1 校（大学）・10 社（企業）

・福祉体験学習事業

市内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒や団体等を対象に、ボランティア活動に関する学習の機会を提供し、活動の推進及び福祉観の醸成に努めた。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から小中学校が休校や外部講師の受入れを見合わせる学校等が多々あったことから、例年に比べ相談件数、実施件数に減少が見られた。

項 目	学校数等	延べ件数	延べ参加者数	内 容
小 学 校	25 校	39 件	3,949 名	ボランティア活動に関する体験学習 ・技術学習（手話、点字、車いす等） ・フィールドワーク ・障がい者との交流学习等 （目標 130 件 10,000 名）
中 学 校	8 校	10 件	1,184 名	
そ の 他	4 団体	19 件	401 名	
合 計	33 校・4 団体	68 件	5,534 名	

※令和元年度福祉体験学習活動事例集の作成 【新規】 1,500 部

・各関係機関のボランティア関係事業協力等

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から関係機関・団体が実施する各種イベントの自粛・中止が多かったことから例年に比べ実施件数に減少が見られた。

主催団体
まつやま NPO サポートセンター運営協議会外 4 団体

ウ. 情報提供・広報啓発

関係機関・団体等からの各種ボランティア情報の収集に努めるとともに、情報紙や携帯電話等を活用しタイムリーな情報提供に努めた。

項 目	内容等	
「おせったい通信」の発行	発行回数	11 回 ※6 月号休刊
	発行部数	各 4,000 部
	配 布 先	ボランティアグループ、個人ボランティア、福祉関係団体、市関係機関、民生児童委員協議会、各大学、企業等 850 ヶ所
LINE 公式アカウントの開始 （5 月から）	登録者数	516 名
	送信回数	16 回
バリアフリー情報の提供	公開施設数	903 施設
ホームページ	アクセス数	4,602 件
民間助成事業の情報収集・提供	情報提供数	43 件（相談件数：13 件）

エ. 研修会・講座等の開催

講座名	開催回数 / 会場 / 内容等	参加者数等
傾聴ボランティア 養成講座	開催回数：5回（令和2年10月8日～11月5日） 会 場：市総合福祉センター 5階 中会議室等 講 師：福本由美 氏 (脳活性サポート企業 gift 代表)	40名 (目標40名)
災害ボランティア 研修 *愛媛県社協共催	開催回数：1回（令和3年1月16日） 会 場：Youtube ライブ配信 内 容：①コロナ禍におけるボランティア活動の 注意点と災害発生に備えた心構え ②避難所等での小さな配慮 ～アレルギー防災って？～ 講 師：①高橋真里氏（香川大学四国危機管理 教育・研究・地域連携推進機構地域 強靱化研究センター技術補佐員） ②宮崎世志子氏（愛媛県松山市アレルギー ーっ子の会 スマイルk i d s）	総再生回数 224回 (1/16～1/31) 再生回数 151回(1/16) 最大同時 視聴者数 60名
若年層ボランティア リーダー養成研修	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
夏休み！ 親子ボランティア 体験講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—

オ. 防災とボランティアの日（災害ボランティアのパネル展示）

展示期間	内容等
令和3年1月8日～1月29日	・平成30年7月豪雨災害ボランティア活動写真の展示

（4）社協会員加入促進事業

【自主事業】

社協だよりや各種事業等を通じて市社協への理解と支援の拡充及び安定した財源を確保するため、継続加入並びに新規会員の拡大に努めた。

ア. 加入状況

会員種別	目 標	会員数	口 数	金 額
個人会員（個人）	3,000,000円（3,000口）	1,835名	2,181口	2,181,000円
特別会員（団体）	2,500,000円（500口）	195団体	310口	1,419,000円
賛助会員（企業）	1,500,000円（150口）	98社	103口	1,030,000円
合 計	7,000,000円	—	—	4,630,000円

イ. 会員紹介状況

対 象	紹介方法	会員数
全会員	市社協ホームページ等への名称掲載	64名・75団体・92社
賛助会員 2口以上の特別会員	①市社協ホームページとのリンク設定 ②市総合福祉センター内パンフレット コーナーの活用	3団体・35社

(5) まごころ銀行運営事業

【自主事業】

地域福祉活動の推進を図るため市民から善意の寄付を受け入れ高齢者や障がい者の福祉サービス事業に活用するとともに、物品については寄付者の意志に基づき社会福祉施設等へ払い出しを行うなど、広く社会福祉の推進及び寄付文化の醸成に努めた。

ア. 受入状況等

種 別	目 標	受 入	件 数	受入・払出先
金 銭	4,700,000 円	4,541,322 円	38 件	市社協
物 品	—	りんご	2 件	児童福祉施設 4 ヶ所
	—	車いす	1 件	市社協
	—	マスク	2 件	市社協
	—	カレンダー	1 件	市社協
	—	ミニカー等	1 件	市社協

※えひめ中央農業協同組合 --- 24 商品の売り上げの一部を寄付 (194,210 円)

※感謝状の贈呈 (5 件)

3 共同募金配分金事業

(1) 見舞金支給事業

【自主事業】

①在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業

地区から申請のあった在宅ねたきり高齢者及び認知症高齢者に対し見舞金を配布することにより、ねたきりの高齢者等への激励とともに、介護者の相談・支援や実態把握に努めた。

項 目	内容等
申請者数	140 名
見舞金総額	420,000 円 (3,000 円 / 1 名)

②災害見舞金支給事業

不慮の災害による家屋の全焼・全壊、死亡、行方不明の被災者及び遺族に見舞金を配布することにより、応急的な生活費の援助と福祉の増進に寄与した。

項 目	件 数	内容等
住宅火災等	21 件	420,000 円 (20,000 円 / 1 世帯)
死亡弔慰金	3 件	60,000 円 (20,000 円 / 1 名)
合 計	24 件	480,000 円

(2) 地区社協育成事業

【自主事業】

①共同募金地区社協配分事業

各地区社協の事業計画に基づき共同募金配分金を助成し、地域福祉の推進に努めた。

助成先	助成額
市内全地区社協 (40 地区)	35,076,917 円

②地区社会福祉協議会連絡会運営事業

市社協と地区社協の連絡調整機能を強化し、各地区社協相互の情報交換及び連携・協働を促進するとともに、生活支援体制整備事業と連動した事業展開を通じて、市社協及び地区社協の事業・活動の更なる活性化に努めた。今年度は特にコロナ禍における地域福祉活動の留意点について示すなど、安心・安全な活動推進の支援に努めた。

ア. 連絡会・研修会等の開催

研修会名等	開催日 / 会場 / 内容等	参加者等
地区社連 会長・事務局長 連絡会	■第1回■ ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（文書送付） 開催日：令和2年4月17日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内容：研修会・事務連絡等	— (目標 80 名)
	■第2回■ 開催日：令和2年8月4日 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 内容：役員紹介・研修会等 演題：コロナ禍における地域福祉活動の留意点について 講師：高須賀紀子 氏 (市在宅医療支援センター副センター長)	会長 40 名 (目標 40 名)
地域福祉リーダー養成講座	開催日：令和3年2月18日・19日 会場：市総合福祉センター 1階 大会議室 市北条社会福祉センター 2階 大会議室 テーマ：「スマートフォンの基本的な使い方について」 講師：楽天株式会社 (愛媛県高齢者デジタルシフト支援業務受託業者)	地区社協および ふれあい・いき いきサロン関係 者 延べ 30 名 (目標 40 名)

イ. ブロック会議

項 目	内容等
開催回数	9 回
会 場	市総合福祉センター 5階 中会議室等
延べ参加者数	41 名 (目標 40 名)
内 容	① ブロック社協会長・副会長の選任 ② ブロック研修会について ③ コロナウイルス感染症に伴う地区の取組み等

(3) 地域福祉活動啓発事業

【自主事業】

①広報啓発事業

社協だよりの発行や、SNS (facebook・Instagram)・YouTube チャンネルを活用した広報活動等を通じて市社協事業等の紹介を行うなど、より一層の啓発に努めた。

項 目	内容等
社協だよりの発行	年 2 回 (約 243,000 部 / 1 回)
ラジオでのイベント・事業等紹介	年 4 回 (南海放送「みんなの松山」)
横断幕の掲揚	市総合福祉センター壁面への掲揚 共同募金運動・日本赤十字社啓発用

イベントへの参加協力	(1) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020 えひめ (2) みんなの生活展 (3) 健康フェスタ in えひめ 2020 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため上記イベント中止
ホームページの運営	(1) 松山市社会福祉協議会 (147,625 件) (目標 130,000 件) (2) 松山市ボランティアセンター (15,264 件) (目標 15,000 件) (3) いきがい交流センターしみず (753 件) (目標 1,500 件) (4) まつやまバリアフリーマップ (4,602 件) (目標 7,000 件)
Facebook・Instagram (SNS) への掲載	(1) 市社協活動や地域行事等の紹介 (Facebook 149 件) (Instagram 119 件) (目標 100 件)
YouTubeの運営	(1) オンライン研修会・発表会等ライブ配信 (1 件) (2) 市社協活動の紹介 (2 件) (目標 5 件)

②若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2020」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のイベント開催を中止した。

(※総合福祉センター管理・運営事業 (P18) に再掲)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③福祉サポートフェスタ開催事業

今年度より若草福祉まつり開催に合わせ統合開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④北条社会福祉センターまつり（文化の森福祉まつり）開催事業

北条社会福祉センターを拠点として活動する各種団体が協働し、イベントやコーナーでのふれあいを通じて福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を目的に開催予定であったが、今年度は風早にぎわいレトロ祭りに参加・協力し、北条支所においてパネル展示を行い福祉啓発に努めた。

項 目	内容等
開催日	令和 2 年 11 月 1 日
会 場	河野別府公園 芝生広場
参 加 者 数	全体約 600 名 (目標 800 名)
内 容	市社会福祉協議会 北条支所 (パネル展示)

⑤愛媛マラソン清掃ボランティア事業

コース沿道の清掃ボランティア活動を通じて、実践機会の提供とボランティア相互の交流促進を図るとともに、企業の参加・協力を促すことで福祉活動や社会貢献活動の拡大に努める目的で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から愛媛マラソンの開催が延期されたため今年度の開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑥障がい者理解啓発イベント開催事業

「障害者週間」にちなみ、障がい者の自立及び社会参加の支援等を行う「発達障がい者就労支援研修会」を同時に開催するとともに、就労継続支援事業所等の参加により、障がい者を支える地域活動の普及啓発の拡充を図ることや地域共生社会の実現に向けた取組を行っていくことを目的に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑦キッズカレッジ～みんなの居場所づくり～事業

ひとり親家庭や共働き家庭等であって、夏休み・冬休みの期間中、子どもだけで過ごす環境にある小学生を対象に、学習支援や異学年との交流、体験学習等を通じて、子どもの居場所づくりや保護者の不安・悩み解消の場づくりを目的に夏休み期間に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑧防災・減災シンポジウム開催事業

平成 30 年 7 月豪雨災害では松山市においても土砂災害等が発生し、11 地区にボランティアを派遣するなど、復興支援を行なった。また、近い将来、発生が懸念される南海トラフ地震においても甚大な被害が予想されていることから、災害に備えた知識を高め、考察する機会としてシンポジウムを開催し、防災・減災への住民意識の醸成に努める目的で 7 月開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑨注文をまちがえる喫茶店開催事業

[新規事業]

認知症の方がホールで働く、「注文をまちがえる喫茶店」を 1 日限定で開催し、認知症の理解促進とまちがいを寛容に受入、「ま、いっか」の大らかな気持ちをもてる福祉感の醸成と共生社会の推進のため開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑩介護予防体操制作事業

[新規事業]

平成 28 年度に制作したまつやま介護予防体操「ゆげゆげ体操」の第 2 弾として、四国の歴史や文化を歌詞に盛り込んだ曲に合わせ心地よく身体を動かす体操を制作し、介護予防の促進に努めた。

項 目	内 容
介護予防体操	介護予防体操『四国てくてく体操』（4 分 30 秒程度） ・ DVD 500 枚（YouTube にも併せてアップロード） ・ 介護予防体操説明チラシ 6,000 枚

(4) 地域交流支援事業

【自主事業】

①地域交流サロン等活動支援事業

高齢者・子育て中の保護者や障がい者、地域のボランティア等が自主的に立上げた地域交流サロン及び農園サロンに対し助成を行い、参加者相互の支え合いを助長することで不安・悩みの解消や子育てを支援するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域福祉の増進に努めた。また、コロナ禍での安心・安全なサロン実施に向けて、「新型コロナウイルス感染回避に配慮したサロンの実施について（留意点）」を示し、実施方法等の情報提供を行うとともに、休止中の高齢者サロンに対し脳トレ資料の郵送等により、フレイル予防に努めた。

ア. 助成額

助成サロン数	助成総額	内容等
34 サロン (目標 76 サロン)	998,000 円	[交流] 1 サロン : 1 開催 3,000 円 (12 回を限度) [農園] 1 サロン : 年間 40,000 円

イ. サロン活動状況

サロン	サロン数		実施回数	延べ利用者数	平均利用者数
高齢者サロン	35 サロン（目標 47 サロン）		214 回	3,097 名	14.5 名
子育てサロン	8 サロン	（目標 19 サロン）	45 回	790 名	17.6 名
障がい者サロン	1 サロン		12 回	129 名	10.8 名
合 計	44 サロン		271 回	4,016 名	14.8 名
農園サロン	5 サロン（目標 10 サロン）				

※ 4 月～7 月上旬は活動中止、再開後も少人数・短時間の開催とした。また、高齢者サロンに対しては、脳トレ資料などを各サロンの拠点まで取りにきてもらう「てくてくデイ」や通常のサロンより実施時間を短縮した「ミニサロン」を示し、サロンが選択して取り組めるよう柔軟な対応を行った。

②道後温泉浴衣活用事業

道後温泉や福祉関係団体と連携し、道後温泉本館の貸浴衣を再利用した製品の製作を行い、高齢者・障がい者等の就労支援や社会参加・生きがいを図るとともに、観光都市松山及び道後温泉の PR 等に努めた。

項 目	内容等	販売数
松山トリコ 製 品	○おじゃみクッション	1 個
	○エコバッグ	63 個
	○湯玉トートバック (L サイズ・S サイズ)	11 個
	○紙の湯カードケース (シングル・ダブル)	84 個
	○湯あがりコースター	49 個
	○湯あがりカバー	25 個

③福祉団体助成事業

福祉関係団体が実施する事業に対し助成を行うことにより、団体活動の支援に努めた。

助成団体数	助成額
4 団体 (松山市身体障害者協会等)	120,000 円

④地域団体研修等車輛借上助成事業

地区社協・地区民協等関係団体が実施する研修や交流活動に対し、バス等借上料の一部助成を行うことにより団体を支援し、地域福祉活動の拡大に努めた。

助成団体数	助成額	内容等
11 団体（計画 100 団体）	208,890 円	1 団体上限 20,000 円

⑤子育て応援プロジェクト事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、キッズシネマ上映会を除き開催を中止した。

実施日	実施内容	会 場	参加者数
令和 2 年 11 月 17 日	キッズシネマ（二部制で実施） （子育て交流サロン行事と併催）	市総合福祉センター	延べ 62 名
令和 3 年 2 月 10 日	キッズシネマ （子育て交流サロン行事と併催）	清水公民館	

⑥おもちゃ図書館ひみつきち事業

【新規事業】

本年度オープニングイベントを実施し、毎月開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

（５）見守り支援事業

【自主事業】

①安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がい者等に対しみまもり安心カード等を配布し、在宅での救命救急活動時における高齢者等の安全・安心を確保するとともに、要援護者の実態把握を通じて、潜在的・予防的ニーズの発見、孤立予防、みまもり支援体制の充実に努めた。

登録者数	活用事例
12,261 名（新規：376 名） （目標 11,250 名）	13 件（累計 166 件：平成 23 年 7 月から） [救命救急活動時の対象者傷病程度] 軽症 7 件、中症 3 件、重症 2 件、不搬送 1 件、死亡 0 件

②認知症高齢者 S O S ネットワーク事業（通称「おまもりネット」）

携帯電話のメール機能を活用し、地域住民等（メールアドレス登録者）の協力を得て、徘徊等によって行方不明となった高齢者の早期発見・保護に努めた。

探索協力者登録数		高齢者登録数	実施件数
個人	1,489 名（新規：37 名）	492 名 （新規：72 名）	捜 索 依 頼 10 件 メール配信 9 件 （配信累計 74 件：平成 25 年度から）
企業・団体	305 団体（新規：2 団体）		

4 相談支援事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口で職員を派遣し、生活困窮者からの相談に応じ、関係機関との連絡調整等を図りつつ、生活全般にわたる包括的な支援に努めた。

項 目		対応件数等	内容等
新規相談受付件数（総数）		4,329 件	来所、電話、訪問・同行等による相談、支援調整会議等含む
継続相談件数		5,351 件	
延べ相談件数（総数）		9,680 件	
支援計画（プラン）作成件数（総数）		348 件	支援調整会議 286 回
就労支援対象者数 （プラン期間中の一般就労を目標にしている）		195 名	
法に基づく事業 等利用件数	住居確保給付金	258 件	1 つの支援計画（プラン）作成において、住居確保給付金、就労支援、生活福祉資金等の重複を含む
	一時生活支援事業	4 件	
	就労準備支援事業	2 件	
	自立相談支援事業による就労支援	333 件	
その他	生活福祉資金等による貸付	3 件	
	生活保護受給者等就労自立促進事業	168 件	
一般就労者数		149 名	プラン未作成者 13 名を含む
増収者数		12 名	

(2) 障がい者総合相談窓口事業

【市受託事業】

松山市役所に設置されている福祉・子育て相談窓口で職員を派遣し、身体・知的・精神障がい者及び障がい児の保護者または介護者からの相談や発達・高次脳機能障がい・難病患者等の相談に応じ、相談者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援・助言を行い課題解決に努めた。

ア. 相談件数（相談方法分類）

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援会議	関係 機関	その他	合 計
延件数	121 件	644 件	241 件	1,037 件	255 件	14 件	2,623 件	4 件	4,939 件

*その他は障害手帳を保持していない相談者

イ. 支援内容

() 内は解決に至った件数

	福祉サービ スの利用等	障がいや 病状の理解	健康・医療	不安の解消 ・情緒安定	保育・教育	家族関係・ 人間関係	家計・経済
延べ件数	1,944 件 (1,944)	263 件 (263)	255 件 (255)	643 件 (643)	1 件 (1)	30 件 (30)	1295 件 (1295)

	生活技術	就 労	社会参加・ 余暇活動	権利擁護	その他	合 計
延べ件数	187 件 (187)	21 件 (21)	1 件 (1)	21 件 (21)	210 件 (210)	4,871 件 (4,871)

ウ. 研修会の開催

研修会名	開催回数 / 会場 / 内容等	参加者等
松山市障がい者虐待防止等研修会	開催回数：5回（令和2年8月31日【2回】、9月4日、9月14日【2回】） 会場：市総合福祉センター 5階 中会議室 テーマ：「虐待を生まない職場づくり」 講師：中田康晴 氏 （株式会社グッドコミュニケーション代表）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 延べ173名 （目標250名）
松山市発達障がい者就労支援研修会	開催回数：1回（令和3年2月21日） 開催方法：オンライン 講演：「障害者の就労・就活ガイド」 講師：紺野大輝 氏	一般企業、地区社協・民協、医療・教育・福祉関係者等 33名 （定員100名） （目標250名）
松山市障がい者差別解消法研修会	開催回数：1回（令和3年3月8日） 開催方法：Youtube ライブ配信 テーマ：「障がい者差別の解消をすすめるにあたって」～社会的障壁を感じる方の事例～ 講師：木原道雄 氏 （木原道雄司法書士事務所代表）	市内障がい者福祉サービス事業所職員 申込者数93名 （目標100名）

（3）福祉サービス利用援助事業

【県社協受託事業】

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的・精神障がい者などを対象に、生活支援員及び専門員が関係機関と連携・協働し、福祉サービス利用の相談や手続代行、日常的な金銭管理等を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 契約件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合 計
件数	5件 〔新規3件〕 〔終了0件〕	26件 〔新規3件〕 〔終了1件〕	52件 〔新規5件〕 〔終了2件〕	5件 〔新規0件〕 〔終了1件〕	88件 〔新規11件〕 〔終了4件〕

※〔 〕は、令和2年度新規契約及び契約終了件数

イ. 生活支援員活動状況

生活支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
14名	1,432回	1,389.5時間

(4) 福祉資金貸付事業

【県社協受託事業】

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進を図るため、家計再建支援として他制度も含め必要な援助指導を行うとともに、生活困窮者自立相談支援事業と連携した効果的な相談支援に努めた。

申請内容	相談件数	申請件数
(1) 総合支援資金 ・生活支援費 ・住宅入居費(敷金・礼金) ・一時生活再建費	9,527 件	コロナ特例 5,133 件 コロナ特例延長 3,413 件 コロナ特例再貸付 2,533 件
(2) 福祉資金 ・福祉費 ・緊急小口資金	8,033 件	8 件 6,888 件 (内、コロナ特例 6,886 件)
(3) 教育支援資金 ・教育支援費、就学支度費	15 件	6 件
(4) 不動産担保型生活資金 ・一般世帯向け ・要保護世帯向け	7 件	0 件 0 件
(5) その他(償還猶予申請等)	—	6 件
(6) 臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件
合 計	17,582 件	17,987 件

(5) 聴覚総合支援事業

①聴覚総合相談事業

【市受託事業】

手話通訳や要約筆記の専門的知識と技術を持つ職員が市内に居住する聴覚障がい児者とその家族及び関係者等からの相談に応じ、聴覚障がい者等が自分に誇りを持ち一社会人として地域の中で生活していけるよう地域・社会へ働きかけを行うとともに、松山市等の関係機関と連携を取りながら総合的支援に努めた。

ア. 相談対応件数(連絡調整含む)

	来所	電話・Fax	電子メール	その他	合計
延べ件数	1,718 件	4,800 件	4,033 件	369 件	10,920 件

イ. 支援内容(連絡調整含む)

	福祉サービスの利用等	障がいや病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係
延べ件数	3,181 件 (3,181)	3 件 (3)	454 件 (454)	67 件 (67)	16 件 (16)	93 件 (93)

	家計・経済	生活技術	就 労	社会参加・余暇活動	権利擁護	手話・要約筆記関係
延べ件数	46 件 (46)	920 件 (920)	61 件 (61)	90 件 (90)	4 件 (4)	486 件 (486)

	登録通訳者	啓発活動	通訳者を紹介	その他	合計
延べ件数	4,034 件 (4,034)	22 件 (22)	1,298 件 (1,298)	145 件 (145)	10,920 件 (10,920)

※ () 内は解決に至った件数

ウ. 啓発活動

内容等	回 数	参加者数
松山市女性消防団手話講習会 (新型コロナ感染拡大防止のため中止)	－ (予定 12 回)	－

エ. 講演会等の主催者が通訳料を負担する場合に通訳者（手話・要約筆記）を紹介

項 目	内容等
紹介件数	531 件
内 容	県医師会公開講座、聖カタリナ大学、愛媛大学、松山大学 ほか

オ. 聴覚障がい者無料法律相談会

愛媛弁護士会から弁護士の派遣協力を得て、情報・コミュニケーション不足のため法的トラブルを抱えながらも法律の専門家に繋がることが困難となっている聴覚障がい者に、意思疎通支援に配慮した身近な相談窓口を提供することで聴覚障がい者の福祉の増進に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

②手話通訳者設置事業

【市受託事業】

松山市役所別館福祉総合窓口到手話通訳者を設置し、聴覚障がい者等の福祉の増進を図るため、聴覚障がい者等と各課職員の意味疎通の支援に努めた。

内 容	身体障 害者手 帳等	補 装 具 等	日 常 生 活 用 具 等	障 害 福 祉 サ ー ビ ス	介 護 保 険	生 活 保 護	医 療 保 険	年 金 手 当	就 労	教 育	住 居	税	窓 口 手 続 証 明 等	窓 口 手 続 証 明 以 外 等	相 談	そ の 他	合 計
件 数	16 件	14 件	36 件	14 件	22 件	4 件	94 件	27 件	5 件	0 件	13 件	50 件	26 件	283 件	88 件	230 件	922 件

③意思疎通支援事業

【市受託事業】

聴覚障がい者等の社会生活における意思疎通を円滑にし、社会参加を促進するため手話通訳者・要約筆記者の派遣に努めた。

ア. 登録手話通訳者・要約筆記者の派遣

	個人に対する派遣										大会等派遣	合 計
内 容	介 護 保 険	医 療	公 的 機 関	学 校	大 会 行 事	研 修 ・ 講 座	障 害 者 総 合 支 援 法	冠 婚 葬 祭	そ の 他	小 計		
件数 (名)	2,784 件 (2,784 名)	2,245 件 (2,245 名)	114 件 (114 名)	64 件 (64 名)	35 件 (35 名)	25 件 (25 名)	3 件 (3 名)	19 件 (19 名)	336 件 (336 名)	5,625 件 (5,625 名)	11 件 (22 名)	5,636 件 (5,647 名)

イ. 登録手話通訳者・要約筆記者研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
----------------------	--	--

ウ. 登録通訳者の健康診断の実施

頸肩腕障害を予防することを目的として、登録手話通訳者・要約筆記者の健康診断を実施した。

項 目	内容等
期 間	令和3年1月26日 ～ 2月18日
受診者数	25名（手話通訳者18名、要約筆記者0名、手話・要約筆記者7名）

④意思疎通支援者養成事業

【市受託事業】

ア. 養成講座の開催

聴覚障がい者等の福祉に理解と熱意のある者を対象に、手話通訳者・要約筆記者を養成するため各種講座を開催し、手話通訳や要約筆記の知識と技術の習得や倫理の指導に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			
講座名		開催回数	修了者数
手話通訳者養成講座	基礎フォローアップ講座	午前 40回 ・ 夜間 40回	—
	手話通訳Ⅰ	午前 39回 ・ 夜間 39回	—
	手話通訳Ⅱ	午前 36回 ・ 夜間 36回	—
	手話通訳Ⅲ	午前 16回 ・ 夜間 16回	—
要約筆記者養成講座(手書き・パソコン)		午前 45回 ・ 夜間 45回	—

イ. 全国統一要約筆記者認定試験の実施

要約筆記者養成講座の修了者（見込み含む）に対し、全国統一要約筆記者認定試験を実施することにより登録通訳者の確保に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
----------------------	--	--

⑤聴覚障がい者等生活訓練事業

【市受託事業】

在宅の聴覚障がい者等に対し、日常生活に必要な知識や技術を身に付けるための訓練や指導を行うことにより、住み慣れた地域における生活能力を高め、社会参加の促進に努めた。

行事名	開催回数 / 開催期間 / 内容等	延べ利用者数
生活支援訪問	訪問回数：123件 訪問期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日 内 容：制度の情報提供や生活支援 等	383名 (目標500名)
中途失聴者・難聴者の手話講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標700名)
くらしセミナー	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標200名)

【 公益事業 】

1 センター管理・運営事業

(1) 総合福祉センター管理・運営事業

【市受託・指定管理事業】

松山市における福祉活動の拠点施設として、福祉関係者等へ会議室の貸出や施設の維持管理を行うとともに、ボランティアグループや福祉関係団体・行政等との協働により福祉人材の育成、情報の収集・発信、高齢者や障がい者等の社会参加の促進を目指して施設の管理・運営に努めた。

※新型コロナウイルス感染拡大防止・回避の観点から期間閉館や、一部利用制限（継続中）等を行ったことにより利用団体（人数）の減少となった。

ア. 利用状況

延べ利用団体数	延べ利用人数	内容等		
4,369 団体 (目標 8,800 団体)	65,093 名 (目標 220,000 名)	施設見学 有料利用	2 団体 3 件	29 名 110 名

イ. 社会福祉啓発事業（福祉講習会）の開催

行事名	開催日 / 会場 / 内容等	参加者
ボランティア活動推進 講演会 (地域福祉活動に関する講演会)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 300 名)
認知症に関する 講演会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 250 名)
まつやま優秀映画鑑 賞推進事業 懐かしの名画劇場 2020	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 1,200 名)

ウ. 若草福祉まつり開催事業

福祉活動への理解促進やボランティア活動の拡充を図ることを目的として、市総合福祉センターを活動拠点とする福祉関係団体や本会への協力企業等が協働して、高齢者や障がい者・児童・ボランティア等広く市民を対象に「若草福祉まつり 2020」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のイベント開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

エ. 福祉ライブラリーの貸出

高齢者や障がい者及び福祉関係者等へ福祉関係の書籍等の貸出しを行うことにより、福祉情報の提供、人材育成、地域福祉活動の推進に努めた。

内 容	書 籍	点字書籍	ビデオ	カセット	DVD	合 計
保 管 数	1,187 冊	101 冊	3 本	159 本	102 枚	1,552 点
貸出件数	6 件	0 件	2 件	5 件	22 件	35 件

オ. ロビー展等

市総合福祉センターロビー等の有効活用を図り、福祉に対する理解者の拡大に努めた。

実施内容		実施期間等
ロビー展等	ア. 発達障がい関係団体活動紹介パネル展示	令和2年4月2日～令和2年4月15日
	イ. 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例貸付制度の案内・受付窓口の設置	令和2年4月1日～令和2年5月13日
	ウ. 七夕飾り（願い事記入）	令和2年7月1日～令和2年8月7日
	エ. 赤い羽根共同募金ポスター展示他	令和2年10月1日～令和3年3月31日
	オ. 人権啓発標語ポスター絵手紙入選作品展示	令和2年12月7日～令和2年12月11日
	カ. クリスマスツリー設置	令和2年12月14日～令和2年12月25日
	キ. 正月飾り	令和2年12月28日～令和3年1月28日
	ク. 防災とボランティア週間パネル展示	令和3年1月8日～令和3年1月29日
	ケ. エンジョイ！へこまんぬりえ展	令和3年2月19日～令和3年3月26日
	コ. 発達障がい啓発DVD放映	令和3年3月29日～令和3年3月31日
募金箱の設置	ア. 日赤活動資金募集募金箱設置	令和2年4月1日～令和3年3月31日
	イ. 共同募金募金箱設置	令和2年10月1日～令和3年3月31日
	ウ. 令和2年7月豪雨災害義援金・支援金募金箱設置	令和2年7月5日～令和2年8月27日
その他	ア. ご意見箱の常設（1階・4階・5階）	令和2年4月1日～（平成19年8月1日設置）
	イ. 豪雨災害支援等ベルマーク収集箱設置	令和2年4月1日～（平成23年9月1日設置）
	ウ. 市総合福祉センターのライトアップ ①世界自閉症啓発デー（ブルー） ②世界アルツハイマーデー（オレンジ）	①令和2年4月2日 ②令和2年9月24日

（2）地域福祉支援システム管理運営事業

【市受託事業】

市総合福祉センターを拠点とした各種福祉活動を支援するため福祉情報を一元管理し、より有効なサービスの提供を目的として構築したシステム関連機器等の入れ替えを行うとともに、適正な維持・管理に努めた。

設置台数	システム登録数		
	個人	団体	企業
36台	55,815名	1,951団体	1,483社

（3）番町福祉センター管理事業

【市補助事業】

高齢者や福祉関係者等の社会参加や福祉活動の推進を図るため、活動の場として会場を提供するなど、施設の管理運営に努めた。

※新型コロナウイルス感染拡大防止・回避の観点から期間閉館、一部利用制限（継続中）等を行ったことにより利用団体（人数）の減少となった。

ア. 利用状況

延べ利用団体数	延べ利用者数
209団体（目標300団体）	1,690名（目標3,000名）

(4) 北条社会福祉センター管理運営事業

【市補助事業】

北条地域の福祉活動の拠点施設として、高齢者等の福祉増進や福祉活動の推進を目指して施設の管理・運営に努めた。

※新型コロナウイルス感染拡大防止・回避の観点から期間閉館、一部利用制限（継続中）等を行ったことにより利用団体（人数）の減少となった。

ア. 利用状況

延べ利用件数	延べ利用者数
2,038 件	11,094 名（目標 16,000 名）

(5) いきがい交流センターしみず管理運営事業

【市受託事業】

小学校の余裕教室等を活用し、高齢者に対し社会的孤立感の解消と心身機能の向上を図るとともに、清水地区を中心とした住民の主体的運営による福祉・文化・レクリエーション等の学習及び異世代交流事業等を実施し、福祉・学習コミュニティの形成と学社融合に努めた。

ア. 地域交流事業

項 目	対 象	開催回数	延べ参加者数
友遊しみず (月・木曜日 10:00 ~ 11:00)	介護保険対象外の概ね 65 歳以上の方	60 回 (目標 90 回)	393 名 (目標 1,500 名)
交流授業	清水小学校児童	8 回 (目標 50 回)	583 名
地域交流イベント (清水小ふれあいバザーへ参加)	清水小学校児童・保護者等	中止	0 名 (目標 80 名)
しみずサポートボランティアの活動	大学生等	80 回	174 名

※友遊しみずはコロナ禍のため 4 月～7 月上旬休止、再開後も少人数・短時間の開催とした。

交流授業は学校側も高齢者の健康に配慮し、全面的に中止となった。

しみずサポートボランティアの活動は感染拡大期には自粛し、活動の人数制限を設けた。

イ. 講座等の開催

行事名	開催回数 / 会場 / 内容等	延べ参加者数
シニアライフ講座	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 180 名)
〈新規〉 終活のススメ講座	開催回数：4 回（令和 2 年 11 月 25 日～12 月 16 日） 会 場：いきがい交流センターしみず 内 容：人生を振り返ろう、「ことづて帖」をつくろう、 もっと知りたい終活のこと、私らしい終活のために	32 名 (目標 60 名)

ウ. 視察対応

受入団体	受入人数	内容等
2 団体（仏生山地区コミュニティ協議会、 聖カタリナ大学）	5 名	事業概要、地区社協・小学校との協働・連携、児童と高齢者・地域住民との交流等について

(6) 活動拠点整備事業

企業及び関係団体等と連携して活動拠点の整備を図り、地域支援体制整備の強化及び要介護認定訪問調査事業における調査業務の効率化に努めた。

拠 点	内容等
えひめ中央農業協同組合桑原支所 1 階	地区関係団体等との連携強化

2 地域生活支援事業

(1) 高齢者等支援事業

①愛の一声訪問事業

【市補助事業】

77 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、原則として週 2 回乳酸菌飲料を訪問配付し、安否の確認や不慮の事故防止及び社会的孤立の解消に努めた。

実利用者数	延べ訪問回数	新規申請者数	安否確認件数
3,563 名	256,182 回	413 名	377 件

②在宅ねたきり高齢者理容サービス事業

【市補助事業】

在宅のねたきり高齢者を対象に、利用券方式により年 4 回の出張理容サービスを実施（県理容生活衛生同業組合松山・古町・北支部）し、保健衛生の向上と介護者の負担の軽減に努めた。

利用券交付者数	延べ利用者数	新規申請者数
9 名	30 名	2 名

③配食サービス事業

【市補助事業】

在宅で食事の調理等が困難な高齢者や障がい者の世帯を対象に、1 日 1 食（昼又は夕）の食事サービスを提供し、利用者の心身の負担軽減や安否確認を行うとともに、栄養バランスのとれた食事を提供（配食業者 9 社）することにより、高齢者や障がい者の健康増進及び福祉向上に努めた。

実利用者数	延べ配食数	新規申請者数
628 名	168,088 食	313 名

④福祉機器貸出事業

【市補助事業】

在宅で介護を受けている 64 歳以下の身体障害者手帳所持者を対象に、レンタル方式（レンタル業者 9 社）により福祉機器を貸し出し、介護者の負担と費用負担の軽減及び要援護者の自立向上に努めた。

電動ベッド	車いす	床ずれ予防マット
8 件	3 件	5 件

※令和 2 年度は新規申請 3 件、返却 4 件

⑤かぎ預かり緊急時対応事業（かぎ預かり SOS）

【新規事業】 【自主事業】

市内在住の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者で、市社協個人会員（1 口 1,000 円/年）に加入し、本事業の利用を希望される方を対象に、玄関等の鍵を預かり、生命に関わる等の緊急事態時に鍵を使って家屋内に立ち入り安否確認等を行えるよう体制づくりに努めた。

新規申請者数	安否確認件数
2 件	0 件

(2) 介護予防促進事業

①ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

【市受託事業】

65 歳以上の高齢者が心身機能の維持向上および介護予防を目的に、公民館や集会所等の歩いて通える拠点に集い、介護予防メニューを行う自主的なサロン活動の支援に努めた。また、コロナ禍での安心・安全なサロン実施に向けて、「新型コロナウイルス感染回避に配慮したサロンの実施について（留意点）」を示し、実施方法等の情報提供を行うとともに、休止中のサロンに対し脳トレ資料の郵送等により、フレイル予防に努めた。

ア. 規模別サロン数

回数 \ 規模	小規模	中規模	大規模	基幹型	合 計
月 2 回	51	50	3	0	104
月 3 回	7	13	1	0	21
週 1 回	17	23	0	0	40
週 2 回	2	3	0	1	6
週 3 回以上	0	0	0	1	1
合 計	77	89	4	2	172

イ. 活動状況

サロン活動登録者数（65 歳以上）	4,809 名
延べサロン開催回数	2,917 回
延べサロン参加者数	45,801 名
サロン活動登録者数（65 歳以上）	(43,551 名)
サロン参加者数（64 歳以下）	(2,250 名)

※4 月～7 月上旬は活動中止、再開後も活動休止を含め、脳トレ資料などを各サロンの拠点まで取りにきてもらう「てくてくデイ」や通常のサロンより実施時間を短縮した「ミニサロン」を示し、サロンが選択して取り組めるよう柔軟な対応を行った。

ウ. してみる測定実施状況

測定メニュー	①開眼片足立ち（体力測定） ②手がかり再生（脳トレーニング測定）*①②どちらかの測定のみも可能
実施サロン数	49 サロン
延べ実施者数	689 名（①②両方：554 名 / ①のみ：112 名 / ②のみ：23 名）

エ. 研修会等の開催

内 容	開催回数 / 会場	参加者等
（オンライン研修） わたしたちサロンの工夫 しているところ 事例発表：3 サロン	開催回数：1 回（令和 3 年 3 月 3 日） 会 場：市総合福祉センター 5 階中会議室 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため YouTube ライブ配信をし、その後 3 月 31 日まで配信。	YouTube 配信 （目標 450 名）

オ. 離島介護サービス対策事業

公共交通機関の利用が不便な釣島（興居島地区）と安居島（北条地区）に在住している要介護者等に対し、健康管理・健康相談等を行うボランティア活動の支援に努めた。

項 目	回数（予定）	延べ利用者数	平均利用者数	実施内容
釣 島	1 回（8 回）	9 名	9 名	介護サービス相談、介護予防レクリエーション、健康相談・介護相談、健康体操、健康等に関する講話 等 協力：医療法人・社会福祉法人
安居島	4 回（8 回）	4 名	4 名	

カ. まちなかサロン実施状況

開催回数	30 回
延べサロン参加者数	255 名
65 歳以上の参加者数	(255 名)
64 歳以下の参加者数	(0 名)

キ. サロン経理調査

実施箇所	市内全サロン 181 サロン
調査期間	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 9 月 30 日

ク. 広報啓発等

啓発方法	回数等
「ふれあい・いきいきサロン通信」の発行	4 回（1,500 部 サロン関係者等への送付）

ケ. 活動機材の貸出

貸出機材	保有数	貸出件数
レクリエーション用具等	91 種類 467 個	82 件
プロジェクター・DVD 等	33 タイトル 94 枚	49 件

コ. エンジョイ！へこまん めりえ展

外出の機会が減る中、高齢者が地域とのつながりを感じることを目的に「松山市マンホール蓋やブツバキ」を題材とした“めりえ”を募集、展示し、サロン活動の啓発に努めた。

応募対象	ふれあい・いきいきサロン、地域交流サロン参加者
応募総数	905 枚
展示期間	令和 3 年 2 月 19 日（金）～ 4 月 9 日（金） ※令和 3 年度も引き続き展示予定。
展示場所	市総合福祉センター 1 階ロビー

②松山健康づくり体操教室事業

【自主事業】

高齢者を対象に体操教室を実施し、運動機能の維持向上や介護予防及び日常生活における安定した生活の持続に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

③まつやまシニアカレッジ事業

【自主事業】

大学との協働により高齢者向けの講義カリキュラムを組み、キャンパスライフの実体験を通じて、介護予防の意識付けや知識の習得、相互交流を行うとともに、受講者のボランティア活動や地域福祉活動への参加促進に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大学側とも協議した上で開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④北条文化の森いきいき講座事業

【自主事業】

北条圏域の地域福祉拠点である「北条社会福祉センター」を活用し、参加者の生きがいや健康づくりを図るとともに、北条文化の森健康づくり体操教室では高齢者の身体機能の維持向上や、介護予防及び自立性を高めた日常生活の維持や社会参加の促進に努める予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

行事名	開催回数 / 会場 / 内容等	延べ参加者数
北条文化の森 いきいき講座事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 180 名)
北条文化の森 健康づくり体操 教室事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	— (目標 1,700 名)

3 調査・評価支援事業

(1) 要介護認定等訪問調査事業

松山市及び他市町村等からの委託により、要介護及び障害支援区分の認定を受けようとする申請者を調査員が訪問面接し、心身の状況や置かれている環境等の調査（障害支援区分認定調査はサービス利用意向の聴取を含む。）を実施するとともに、医師の意見書等の送付・回収を行い、公正で適正な認定に努めた。

調査内容	申請件数	実施件数	完了件数
① 要介護認定訪問調査事業 【市受託事業】	24,750 件	19,786 件	19,870 件
② 生活保護受給者身体状況訪問調査事業 【市受託事業】	114 件	108 件	108 件
③ 住所地特例認定訪問調査事業 【他市町村等受託事業】	703 件	655 件	655 件
④ 障害支援区分認定調査事業 【市受託事業】	1,512 件	1,438 件	1,438 件

※要介護申請数（コロナによる期間延長・取り下げ含む）

※申請・実施・完了件数の相違については、年度末申請分の調査が次年度実施となるため

(2) 社会福祉施設等支援事業

①介護サービス事業者調査事業

【市受託事業】

介護サービス事業所における介護従業者の定着化を図ることを目的に、介護サービス事業所や介護従業者が抱えている課題、実態把握等における調査や人材育成に資する研修を実施するなど、介護サービスの質の向上に努めた。

ア. 介護サービス事業所を中心に訪問等でアンケート調査（事業所の課題や職員の処遇等）

依頼対象施設	設置数	延べ訪問回数
①地域密着型特別養護老人ホーム	22 施設	6 回

②通所介護	128 施設	52 回
③グループホーム	126 施設	32 回
④地域密着型通所介護	83 施設	17 回
⑤小規模多機能型居宅介護	55 施設	11 回
⑥複合型サービス	4 施設	2 回
⑦訪問入浴介護	5 施設	3 回
⑧通所リハビリテーション	448 施設	9 回
⑨認知症対応型通所介護	16 施設	0 回
合 計	887 施設	135 回

※その他施設 訪問回数 3 回（合計に含む）

イ. 運営推進会議等への参加

会議名	参加回数
運営推進会議（グループホーム等の地域密着型サービス事業）	81 回

ウ. 集団研修等の開催

研修名	開催日 / 会場 / 内容等	延べ参加者数
集団研修	施設長・管理者・リーダー研修会 日 時：令和 2 年 11 月 12 日 場 所：松山市総合福祉センター 5 階 中会議室 演 題：「管理者研修～ノーリフティングケア導入への取り組みについて～組織における職員の腰痛予防対策について」	41 名 (目標 40 名)
出前講座	- 介護職員スキルアップ研修Ⅰ（参加 15 名） 日 時：令和 2 年 11 月 30 日 場 所：松山市味生ふれあいセンター 3 階 大会議室 演 題：「感染症予防について、そうだったのか感染対策」 - 介護職員スキルアップ研修Ⅱ（参加 19 名） 日 時：令和 2 年 12 月 17 日 場 所：松山市総合福祉センター 5 階 中会議室 演 題：「良質なコミュニケーションで良好な人間関係を築く」 - 介護職員スキルアップ研修Ⅲ（参加 23 名） 日 時：令和 3 年 1 月 28 日 場 所：オンライン研修 ZOOM 演 題：「実践例から学ぶ認知症ケア」	57 名 (目標 90 名)
ケアプラン研修	- 第 1 回 ケアプラン研修会（参加 67 名） 日 時：令和 3 年 3 月 5 日 場 所：オンライン研修 ZOOM 演 題：「本人らしさ」に着目したチームケアでつくるケアプラン～CADL の視点で利用者(家族)とチームケアを動機づける～ - 第 2 回 ケアプラン検討会（参加 33 名） 日 時：令和 3 年 3 月 19 日 場 所：オンライン研修 ZOOM 演 題：「本人らしさ」に着目したチームケアでつくる施設ケアプラン～CADL の視点で利用者(家族)とチームケアを動機づける～	100 名 (目標 180 名)

②ケアプラン評価等事業

【市受託事業】

圏域内事業所からの事例提供をもとに地域包括支援センター単位で検討会を毎月開催し、検討委員に主任介護支援専門員のほかに医療や看護、リハビリの専門職を加えるとともに、事例にある要介護者等との面談を通して状態を詳細に把握することでより高度で多面的な検証・助言を行い、またサービス事業所の参加を得て情報共有化の必要性を再認識することで、介護支援専門員のケアプラン作成能力の向上に努めた。

項 目	内容等
開催回数	10 回（感染拡大防止のため令和 2 年 4 月と 5 月中止。6 月文書開催。7 月～10 月会議開催。11 月～令和 3 年 3 月文書開催。）
検討委員	3 名（主任介護支援専門員 1 名、リハビリの専門職 1 名、看護の専門職 1 名）
司会進行	1 名（包括支援センター内主任介護支援専門員）
評価対象事例	20 ケース（一人ケアマネの事業所、特定事業所加算なしの事業所、サービス付き高齢者専用住宅に併設された事業所から 2 事例）
主な検証内容等	・自立支援を意識したケアプランの作成 ・利用者の全体像が把握できる情報収集 ・ニーズの導き方、優先順位のつけ方、目標設定の適正 ・楽しみのある幸せな生活の実現に近づくプランの作成

③介護相談員派遣事業

【市受託事業】

施設等の介護サービスが提供されている場へ介護相談員を派遣し、利用者の日常的な不平、不満、疑問等の相談に応じるとともに、利用者の生活の観察やサービス提供事業所におけるサービスの実態を把握し、問題の発見や提起、解決策の提案等を通じて、苦情を未然に防ぎ、介護サービスの質的向上を図った。また、相談活動に必要な知識・技術を習得するための養成研修を開催するなど介護相談員の資質向上に努めた。

ア. 実施状況

施設数	訪問回数	延べ派遣相談員数	相談件数
10 施設（新規 6 施設含む）	8 回	16 名	24 件

イ. 現任介護サービス相談員研修（初級・中級）への参加

研修会名	開催日/会場/内容等	参加者数
現任介護サービス相談員研修（初級）	開 催 日：令和 2 年 10 月 13 日 会 場：県総合社会福祉会館 主 催：愛媛県社会福祉協議会 対 象：介護サービス相談員 行政説明：「介護保険制度と介護サービス相談員の役割」 講 義：「高齢者の心理と理解」 「介護サービス提供の施設や事業所の理解」 演 習：「コミュニケーション技術とトレーニング」	6 名
現任介護サービス相談員研修（中級）	開 催 日：令和 2 年 11 月 9 日 会 場：県総合社会福祉会館 主 催：愛媛県社会福祉協議会 対 象：介護サービス相談員 行政説明：「介護保険制度と介護サービス相談員の役割」 講 義：「認知症の正しい理解」 活動事例：「介護サービス相談員活動の取り組み」 報 告：「介護サービス相談員活動について」 「介護サービス相談員を受け入れて」 演習情報：「介護サービス相談員活動における課題」	5 名

ウ. 介護サービス相談員スキルアップ研修会の開催

研修会名	開催日/会場/内容等	参加者数
介護サービス相談員 スキルアップ研修会 (第1回)	開催日：令和2年8月7日 会場：市総合福祉センター 対象：介護サービス相談員 講義：第1回感染症予防 「対人援助と感染症対策～合理的に常識的に思 いやりをもって～」	8名
介護サービス相談員 スキルアップ研修会 (第2回)	開催日：令和2年9月24日 会場：市総合福祉センター 対象：介護サービス相談員 講義：「第2回新型コロナウイルス感染症予防 ～訪問時の感染予防～」	9名
介護サービス相談員 スキルアップ研修会 (第3回)	開催日：令和3年2月18日 会場：市ハーモニープラザ 対象：介護サービス相談員 講義：「傾聴スキルアップ研修」	8名

エ. 介護サービス相談員連絡会の開催

研修会名	開催日/会場/内容等	参加者数
介護サービス相談員 連絡会 (第1回) ※個別面談で実施	開催日：令和2年6月1日～令和2年6月26日 会場：市総合福祉センター 対象：介護サービス相談員 内容：「新年度事業について」 「活動必要物品の配布（マスク・手帳等）」等	15名
介護サービス相談員 連絡会 (第2回) ※個別面談で実施	開催日：令和3年2月18日 会場：市ハーモニープラザ 対象：介護サービス相談員 内容：「今年度活動報告等」、「リモート面接演習」	8名

4 権利擁護センター事業

(1) 権利擁護センター運営事業

【市受託事業】

認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、状態に応じた包括的な相談・支援を実施し、各関係機関との連携により、地域生活を支える権利擁護支援体制の強化に努めた。

ア. 主な活動

内容等		相談件数
成年後見利用支援業務（専門相談、申立支援）		493件
成年後見活動支援業務（後見人サポート、啓発・研修）		6件
内 訳	延べ回数	延べ参加人数
出張相談会・研修会の開催	2回	90名
講師派遣・会議参加等	4回	160名
パンフレット配布部数		2,513部

イ. 専門職無料相談会の開催

項 目	開催回数	相談件数
弁護士相談（毎月第2木曜日）	12回	28件
司法書士相談（毎月第4木曜日）	12回	25件
行政書士相談（毎月第3木曜日）	12回	10件

ウ. 講座・研修会の開催

講座名	開催日 / 会場 / 内容等	参加者数
権利擁護市民セミナー	開催日：令和2年10月3日 会 場：市総合福祉センター5階 中会議室 演 題：「信頼できる家族に任せたい！民事(家族)信託活用法」 講 師：奥山啓彦 氏 (税理士法人山田&パートナーズ：税理士)	40名 (目標50名)
成年後見制度実務者研修	開催日：令和2年10月28日 会 場：市総合福祉センター5階 中会議室 演 題：「知っておきたい相続法改正 ～相続に関するルールが大きく変わります～」 講 師：林寛大 氏（弁護士法人たいよう：弁護士）	50名 (目標50名)

(2) 法人成年後見事業

【自主事業】

認知症・障がい等によって判断能力が不十分な方を対象に、法的に権限が与えられた代理人（成年後見人等）として財産管理や身上監護を行い、権利擁護及び生活の質の向上に努めた。

ア. 受任件数

種 別	被後見人数				合 計
	市 長	親 族	本 人	職 権	
後 見	11件	3件	1件	—	15件
保 佐	—	—	—	—	0件
補 助	—	—	—	—	0件
合 計	11件	2件	1件	—	14件

イ. 法人成年後見事業支援員活動状況

法人後見支援員登録者数	延べ活動回数	延べ活動時間数
5名	88回	175.5時間

(3) 市民後見推進事業

【市受託事業】

住民参加による市民後見活動を推進することにより、認知症高齢者や障がい者の権利擁護に寄与するとことを目的に、市民後見人の養成に努めた。

ア. 研修会等の開催

項 目	開催回数 / 会場 / 内容等	延べ参加者数
成年後見人啓発 研修会 (施設事業者向け)	開催回数：2回（令和2年11月25日・令和3年2月2日） 会 場：市総合福祉センター5階 中会議室 内 容：「知っておきたい！法テラスに相談できること」 講 師：安井真依子 氏（法テラス愛媛事務局長） ※Zoomにてリモート開催に変更（2回目のみ）	37名 （目標60名）
成年後見人啓発 研修会 (親族後見人向け)	開催回数：2回（令和2年11月11日・令和3年2月26日） 会 場：市総合福祉センター5階 中会議室 内 容：「詳しく知りたい！成年後見人の仕事」 講 師：谷本亜希美 氏 （リーガルサポートえひめ支部支部長） ※講義のビデオ撮影・活用に変更（2回目のみ）	28名 （目標60名）
成年後見人啓発 研修会 (中予圏域編)	開催回数：1回（令和3年2月1日） 会 場：市総合福祉センター5階 中会議室 内 容：「債務整理の基本的な考え方」 講 師：吉村紀行 氏（弁護士法人たいよう弁護士） ※愛媛CATVの放送に変更	18名 （目標40名）
法人成年後見事業 支援員等ステップ アップ研修会	開催回数：6回（令和2年9月23日～10月30日） 会 場：市総合福祉センター5階 母子児童交流室 内 容：①「コロナウイルス対策・在宅医療について」 ②「生活保護について」 ③「成年後見人業務親亡き後・死後事務・報酬について」 ④「障がい者の理解対応について」 ⑤「家庭裁判所の申立手続きから調査の流れ」 ⑥「後見リスクマネジメントトラブル防止のために」 講 師：①高須賀紀子 氏 （松山市在宅医療支援センター副センター長） ②二宮誠二 氏 （松山市生活福祉総務課面接班） ③石木光二 氏 （リーガルサポートえひめ支部司法書士） ④藤本篤 氏 （松山市障がい者南部地域相談支援センター 相談支援専門員） ⑤高橋孝彰 氏／田原恵 氏 （松山家庭裁判所主任書記官／主任調査官） ⑥山崎元昭 氏 （リーガルサポートえひめ支部：司法書士）	44名 （目標78名）
市民後見人養成 フォローアップ 研修会	開催回数：2回（令和3年1月27日・2月24日） 会 場：市総合福祉センター5階 中会議室 内 容：①「後見人の1年間～後見人業務の実際と後見 事務報告について～」 ②「本人の意思決定支援の方法／ チームで取り組む本人との関わり方／ 後見事務報告書の作成方法」 講 師：①谷本亜希美 氏 （リーガルサポートえひめ支部：支部長） ②野本真由美 氏 （リーガルサポートえひめ支部：司法書士） ※講義のビデオ撮影・活用に変更	34名 （目標80名）

5 広報啓発事業

(1) 福祉啓発・人材育成事業

①福祉大会開催事業

【市受託事業】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は関係者参列の大規模な催事は行わず、多年にわたり福祉活動に功績のあった方々への表彰のみ実施し、関係者の相互理解と連携促進に努めた。

項 目	内容等
大会名	令和2年度 松山市福祉大会
内 容	表 彰 165 名・35 団体

②ボランティア養成講座事業

【市受託事業】

広く市民に対して点字や手話、朗読等各種ボランティア養成講座を開催し、障がい者の理解やボランティア活動への参加促進に努める目的で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
講座名	開催回数
点 字	初級 20 回 ・ 中級 19 回
手 話（午前）	入門 19 回 ・ 基礎 20 回
手 話（夜間）	入門 19 回 ・ 基礎 20 回
朗 読	初級 12 回 ・ 中級 13 回

③コミュニケーションスキルアップ講座事業

【自主事業】

コミュニケーションのスキルアップに興味のある方を対象に、傾聴や心理学によるコミュニケーション技法の学びの場を提供し、地域で活動できるキーパーソンの育成に努める目的で開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

④オンライン福祉情報発信・福祉人材育成支援事業

【新規事業】 【自主事業】

市総合福祉センターを拠点にオンラインによる各種研修会等を実施し、人材の育成を図るとともに、Youtube 等を活用し地域住民に対して福祉情報等を直接発信することで、地域住民の生きがいがづくりや福祉理解者拡大につながり地域の活性化に努めた。

項 目	内容等
Web 会議等の開催回数 (ZOOM 等)	研修会（主催） 17 回 会 議（主催） 11 回 研修会（参加） 25 回 会 議（参加） 14 回
Youtube	動画配信 4 本・ライブ配信 4 本・動画製作 1 本 チャンネル登録者数 74 人 延べ視聴回数 1,775 名 総再生時間 470.1 時間

